

平成26年度

筑紫野市教育委員会
点検・評価報告書

平成27年12月

筑紫野市教育委員会

目 次

I. はじめに	2
II. 教育委員会の活動状況等	2
(1) 教育委員会の構成	2
(2) 教育委員会会議付議事項	3
(3) その他の活動状況	5
III. 事務事業の点検・評価	6
(1) 教育費の決算状況	6
(2) 事務事業評価	6
(3) 点検及び評価に関する学識経験者からの意見及び活用について	7
<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>	
1. 学校教育の充実	8
2. 青少年の健全育成	13
3. 生涯学習・社会教育の推進	18
4. スポーツ・レクリエーションの推進	32
<認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成>	
5. 人権意識の向上	35
学識経験者意見	40
点検及び評価に関する学識経験者からの意見	41

I. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

II. 教育委員会の活動状況等

(1) 教育委員会の構成

(平成27年4月1日現在)

委員の区別	氏名	性別	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
委員長	近本 明	男	H24. 10. 04	H28. 10. 03
委員（委員長職務代理者）	潮見 眞千子	女	H25. 12. 21	H29. 12. 20
委員	西村 幸子	女	H24. 06. 23	H28. 06. 22
委員	田代 邦夫	男	H27. 03. 07	H31. 03. 06
教育長	上野 二三夫	男	H25. 01. 01	H28. 12. 31

(2) 教育委員会会議付議事項

回数	開催日	定例臨時	議案名
1	平成26年 4月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱について ○筑紫野市指定有形文化財（紙本著色宝満山入峯絵巻）の指定について ○筑紫野市指定有形文化財（柚須原の木造聖観音坐像）の指定について ○移動図書館の運営に関する規程の一部を改正する規程について ○教育委員の辞職の同意について
2	5月19日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力テストの結果公表について
3	5月29日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市歴史博物館協議会委員の委嘱について ○学校運営協議会を設置する学校の指定について ○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について ○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立山家幼稚園の保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について
4	6月10日	臨時	議案なし
5	6月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市奨学生の選考について
6	7月31日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市奨学生の選考について
7	8月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○一般社団法人筑紫野市体育協会事業等の報告について ○公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業等の報告について ○筑紫野市一般会計（教育関係）補正予算について ○筑紫野市若年者専修学校等技能習得資金入校支度金立替金貸与要綱及び筑紫野市若年者専修学校等技能習得資金貸与要綱の一部を改正する要綱の制定について ○平成27年度使用中学校教科用図書の採択について ○平成27年度使用小学校教科用図書の採択について
8	9月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度筑紫野市教育委員会点検・評価報告書について
9	10月30日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度筑紫野市教育委員会点検・評価報告書について ○筑紫野市立山家幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市いじめ問題等対策連絡協議会設置要綱の制定について ○筑紫野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について

回数	開催日	定例臨時	議案名
10	11月27日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市指定有形文化財「山家宿の恵比須石像」の指定について ○筑紫野市指定有形文化財『正徳四年カ「二日市宿庄屋覚書」(河口屋水城正五郎写)』の指定について ○筑紫野市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置条例の制定について ○筑紫野市一般会計(教育関係)補正予算について
11	12月22日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市奨学生の選考について ○筑紫野市文化振興審議会委員の委嘱について ○市長の権限に属する事務の補助執行について
12	平成27年 1月29日	定例	議案なし
13	2月26日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○平成27年度学校給食費について ○平成27年度学校給食実施について ○筑紫野市特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について ○筑紫野市就学指導委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について ○平成26年度筑紫野市一般会計補正予算(第6号)〈教育費〉について ○平成27年度筑紫野市一般会計暫定予算〈教育費〉について ○平成27年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について ○二学期制の実施について(二日市東小学校) ○二学期制の実施について(吉木小学校) ○二学期制の実施について(阿志岐小学校) ○筑紫野市子どもの読書活動計画策定委員会委員の委嘱について
14	3月25日	臨時	議案なし
15	3月26日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市教育委員会公告式規則等の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を校長に委任する規程及び筑紫野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について ○筑紫野市カラオケボックス等の設置等に関する指導要綱実施要領の一部を改正する要領の制定について ○筑紫野市立学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について

回数	開催日	定例臨時	議案名
			○筑紫野市スポーツ推進委員の委嘱について ○筑紫野市立山家幼稚園管理規則の制定について ○筑紫野市立山家幼稚園の保育料等の減免に関する規則の一部を 改正する規則の制定について

以上の付議事項は全て可決されました。

(3) その他の活動状況

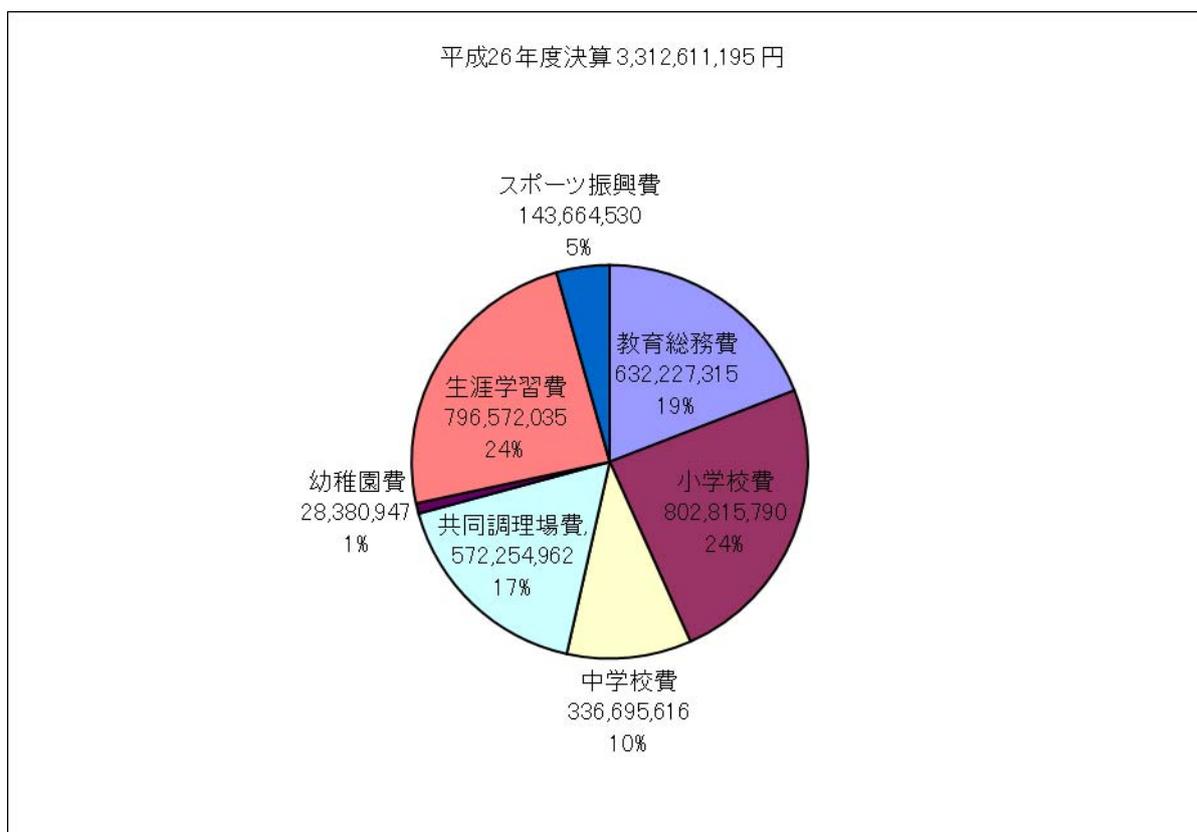
- ① 学校訪問・・・市内全小中学校を訪問
- ② 各種行事等・・・入学（入園）式、卒業（卒園）式、運動会、体育会、教職員赴任式等に出席
- ③ 研修等・・・福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育委員研修会・筑紫地区教育委員研修会等に
参加
- ④ その他・・・定期的に学校訪問

Ⅲ. 事務事業の点検・評価

本市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行う事務事業評価制度を導入し、事務の効率化を図っています。

(1) 教育費の決算状況

平成26年度の教育費関係決算額33億1,261万1,195円で、一般会計(321億4,216万4,290円)に占める教育費の割合は10.3%となっており、昨年度の7.6%と比べて2.7%増加しています。また、教育費関係決算額についても昨年度24億3,969万8,841円から平成26年度決算額33億1,261万1,195円となっており、8億7,291万2,354円増額となっております。これは、平成26年度に市内全小中学校の304教室に空調設備を設置したことと、筑紫小学校プールの改築工事や共同調理場の機能改善工事を行ったことによるものです。



(2) 事務事業評価

- A 成果があがっている
- B どちらかといえばあがっている
- C あがっていない

(3) 点検及び評価に関する学識経験者からの意見及び活用について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に、教育に関する事務及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することが規定されています。また、同法律第26条第2項の規定に、点検及び評価を実施するに当たっては、その客観性を確保する観点から学識経験者等の知見を活用することが規定されており、次の理由から筑紫野市社会教育委員の識見者に意見書を求める方式としています。

- 教育委員会が行うこととなる点検及び評価については、専門的かつ継続的な見地が求められていること。
- 本報告書で実施した教育委員会の事務事業の評価については、自己評価となることから、外部からの意見書をもって、客観性を担保する必要があること。

<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>

1. 学校教育の充実

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
教育環境の整備	1. 児童生徒通学支援事業	●児童の通学途上における安全確保を講じることにより教育環境を良好に保つ。 ◇天山バス・・・児童数36人 稼働205日 平等寺除雪・・・除雪等回数0回 馬市タクシー・・・児童数4名 稼働199日 天拝小・・・指導日数200日 二日市東・・・指導日数200日	B
教育環境の整備	2. 小学校備品等整備事業	●小学校図書館の図書及び教師用図書の購入 ◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 5,862,093円	B
教育環境の整備	3. 中学校備品等整備事業	●中学校図書館の図書及び教師用図書の購入 ◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。 事業費 2,706,040円	B
教育環境の整備	4. 原田小学校プレハブリース事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 ◇原田小学校通学区域での急激な児童数の増加により、当面普通教室等が不足するため6教室のプレハブ校舎を建設。	A
教育環境の整備	5. 筑紫小学校プール改築事業	●児童が伸びやかに健康で安全に学習ができる ◇経年劣化を原因とする地盤沈下によるプールの傾き、大プールと小プールの水位調整不良、塗装の傷みやコンクリートのざらつきが激しいことから筑紫小学校プールの改築工事を行った。	A
教育環境の整備	6. 小・中学校防災機能強化（空調設備整備）事業	●児童が伸びやかに健康で安全に学習ができる ◇災害時に二次避難所として学校施設を利用する際の機能強化のため、また酷暑の季節における教育環境の向上や、PM2.5などの大気汚染で教室の窓を開けられないときに快適に授業を受けられるよう、市内小中学校の普通教室等（304教室）に空調設備の設置工事を行った。	A
教育環境の整備	7. 天拝小学校屋内運動場天井落下防止対策事業	●児童が伸びやかに健康で安全に学習ができる ◇天拝小学校屋内運動場の吊り天井撤去工事及び屋内運動場の非構造部材（天井、バスケットゴール、照明・放送設備、掲示物、窓ガラス及び内・外装）の落下防止対策工事を行うための設計業務委託を行った。	A

教育環境の整備	8. 小学校公共水道 接続事業	●児童が伸びやかに健康で安全に学習ができる	A
		◇阿志岐小学校の井戸水を公共上水道に切り替えた。	
教育環境の整備	9. 中学校受変電設 備更新事業	●生徒が伸びやかに健康で安全に学習ができる	A
		◇筑紫野中学校の受変電設備が老朽化しており、腐食が激しいことから、更新工事を行った。	
教育環境の整備	10. 二日市中学校グ ラウンド再整備 事業	●生徒が伸びやかに健康で安全に学習ができる	A
		◇二日市中学校の特別棟体育倉庫を解体して運動場を拡張し、保護者観覧スタンドを設置した。	
教育環境の整備	11. 中学校放送室 A V 調整卓更新事 業	●生徒が伸びやかに健康で安全に学習ができる	A
		◇筑紫野南中学校の A V 調整卓が老朽化しており、部品等の廃盤により故障した場合の保守ができないことから、更新工事を行った。	
教育環境の整備	12. 遠距離通学補助 事業	●遠隔地にある学校への通学支援を行うことで幼児教育、義務教育を受ける環境を整えることができる。	B
		◇遠距離通学対象者児童生徒数 12人	
教育環境の整備	13. 特別支援教育推 進事業	●市内小中学校に在籍する、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する。	B
		◇特別支援学級設置16校中13校に介助員を配置した。(複数配置校があるため、34名配置)	
教職員の資質の向上	14. 情報教育管理事 業	●情報教育の活性化及び各教科においてコンピュータを有効に利用するために、コンピュータ機器を万全な状態にしておくことで、問題なく授業を行う。	B
		◇平成21年度から22年度にかけ、学校 ICT 環境整備事業を活用し、平成23年度末までに市内全小中学校のコンピュータ教室の機器の更新を行った。現在は適正に管理されている。	
教職員の資質の向上	15. 小中学校教育研 究指定校補助事 業	●児童生徒への授業の力量を高める実践的研究を行い、指定校において公開授業等の研究成果を広く公開していく。	B
		◇研究指定校 1年目(原田小、筑紫東小、筑紫野南中) 2年目(二日市東小、二日市北小、筑山中) 3年目(天拝小、吉木小、筑紫野中)	

確かな学力の育成	16. 外国語教育推進事業	<p>●日本語的英語ではなく、現地の英語や文化習慣に触れる時間を多くして、身近に触れさせている。</p> <p>◇ALT 3名(内訳：市単費 3名) 年間派遣時数：中学校 849時間 小学校 983時間 英語スピーチコンテストの実施 11/15(土) 文化会館 多目的ホールにおいて実施</p>	A
確かな学力の育成	17. 少人数指導推進事業	<p>●学級や学校全体の人数を分割し、子ども一人ひとりに目が行き届くようきめ細かな指導を行い、学力の向上を図る。</p> <p>◇小学校2年生までの少人数学級を行うため、市費非常勤講師を配置。26年度は講師1名を配置した。小学校全学年で少人数学級を達成している割合は、88.4%。</p>	A
確かな学力の育成	18. 読書活動推進事業	<p>●児童・生徒に読書活動を定着させ、確かな学力の育成につながるために全小中学校に図書司書を各1名(週16時間)配置するとともに、標準図書数達成に向け、図書購入費を配分している。</p> <p>◇年間一人当たりの貸出冊数が小中合わせて6.4冊増(25年度：29.3冊/26年度：35.7冊)と大きく伸びている。環境面の改善も大きく進んでいるが、標準図書数の達成については、廃棄処分などとの関係もあり、複数年次を要すると見込まれる。</p>	B
健やかな体の育成	19. 中学校文化・体育奨励事業	<p>●学校体育・スポーツ・文化活動を通じて、規範意識の向上や道徳性を身に付けるため、文化体育活動に対する補助及び関係団体への負担を行う。</p> <p>◇(文化) 5校： 922,540円 (体育) 筑前大会： 705,220円 県大会： 471,780円 九州大会： 632,320円 全国大会： 147,420円 新人戦筑前大会： 530,760円 県大会： 206,140円 (負担金) 筑紫地区中学校体育連盟負担金 588,617円 筑紫地区中学校文化連盟負担金 84,745円</p>	B

豊かな心の育成	20. 生徒指導総合推進事業	<p>●児童生徒の抱える問題や取り巻く環境の課題に対し、学校のみでは解決が困難な事案に関して総合的に解決を図るため、専門的な人材を配置・派遣することにより解決への支援を行っている。</p> <p>◇「適応指導教室」に指導員3名（1名はスクールカウンセラー兼務）を配置し、ヤングアドバイザーの協力を得て、学校へ登校できない児童生徒延べ19名に対し、集団生活に適応するための援助及び指導を行いながら学校復帰を支援した。</p> <p>◇市内中学校5校に「心の教室相談員」5名を配置し、生徒の心の居場所づくりを行った。</p> <p>◇市内中学校3校に「不登校対策専任指導員」3名を配置し、家庭訪問等により不登校（傾向）の生徒の学校復帰に向けた支援・指導を行った。</p> <p>◇市教委に「スクールソーシャルワーカー」1名を配置し、児童生徒を取り巻く生活環境も含めた諸課題に対し、関係部署と連携しながら必要な支援の情報提供等を行うことで、その課題解決に取り組んだ。</p> <p>◇小中学校に、県費や市雇用の「スクールカウンセラー」を派遣し、心理検査やカウンセリング等により児童生徒、保護者等の抱える心の問題の解決を図った。</p>	A
健やかな体の育成	21. 学校保健管理事業	<p>●健康診断を行うことで、児童・生徒及び職員の健康の保持増進を図る。</p> <p>◇学校保健安全法による事業 一般健康診断（122名） 胃検診（103名） 尿検査（1次：9，110名、2次：245名） ぎょう虫検査（6，050名） 心臓（1次：1，985名、2次：61名） 結核（1次：381名、2次：13名） 学校検診（9，047名） 就学前検診（1，034名） 歯科検診（8，894名）</p>	B
健やかな体の育成	22. 共同調理場給食運営事業	<p>●学校給食は、児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供することにより、すべての児童生徒の健康増進と体位の向上を図っている。</p> <p>◇市内の小中学校の児童生徒及び教師等に年間187日（約9、600食／日）の給食を共同調理場方式で実施した。 小学校8校が2学期制をとっているため、3学期制の学校よりも3日早く給食開始している。</p>	B

健やかな体の育成	23. 学校給食共同調理場施設整備事業	<p>●より安全安心な学校給食を提供する。</p> <p>◇耐震化の問題や衛生管理基準の問題を解消するために、学校給食共同調理場の施設整備工事を行った。</p>	A
健やかな体の育成	24. 筑紫野市学校給食会助成金	<p>●市学校給食会に助成金を交付することで、給食会の運営が円滑に行われる。</p> <p>◇調理員衛生講習会や市料理コンクールの実施。県主催の料理コンクール出場、毎年各小・中学校の給食主任が研修・研究大会へ参加し、献立委員会に活かしている。</p> <p>食育推進に関する事業として、親子料理教室の開催、食育だよりを毎月発行、小学3年生を対象にした学校訪問では、学校給食と連携した食に関する指導を行い児童との会食を行なった。</p>	B
就園、就学の支援	25. 私立幼稚園育成助成事業	<p>●市内私立幼稚園7園に対する助成</p> <p>◇市内私立幼稚園7園に助成 均等割及び園児数割 計2,400,000円</p>	B
就園、就学の支援	26. 専修学校等技能習得資金貸与返還事業	<p>●就労に必要な技能及び知識の習得を図り、社会において有為な人材の育成を図る。</p> <p>◇広報及びホームページにより周知を図ったが、専修学校のうち対象となる学校等が限られていることもあり、平成26年度は申請者がなかった。</p>	C
就園、就学の支援	27. 学校就学援助奨励事業	<p>●経済的な理由によって就学困難な児童生徒への義務教育の就学を円滑に行う。</p> <p>◇援助児童生徒数実績 要保護 : 34人 準要保護 : 1,528人 合計 : 1,562人</p> <p>特別支援就学奨励実績 小学校 : 56人 中学校 : 23人 合計 : 79人</p>	B
就園、就学の支援	28. 幼稚園就園奨励等事業	<p>●公立・私立幼稚園に在園している3・4・5歳児に幼稚園教育の振興を図るため、幼稚園保育料等の補助を行う。</p> <p>◇公立 16人(減免) 私立 1,295人</p>	B
就園、就学の支援	29. 山家幼稚園預かり保育運営費補助事業	<p>●山家地区の保育機能の一部を担い、就労などにより、長時間の保育を必要とする保護者を支援する。</p> <p>◇最大利用者数 34名/月 年間延利用者数 5,735名/年</p>	B

2. 青少年の健全育成

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	30. 地域子ども会活動費補助事業	● 単位子ども会の活性化を図る。 子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。	B
		◇ 単位子ども会支援策として、補助金総額 2,160,000円を交付した。交付単位子ども会数：48団体	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	31. 筑紫野市ジュニア・リーダーズ・クラブ連絡協議会補助事業	● ジュニア・リーダーの育成に取り組む団体を財政的に支援する。	C
		◇ レクリエーション講習会 □ 芸術・文化部門 マーチングバンド・クラブ □ 体育・スポーツ部門 ソフトテニス	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	32. 筑紫野市青年団体連絡協議会補助事業	● 青少年育成市民会議を通して、青少年の健全育成に資する団体とする。併せて、社会貢献活動を実施する団体とする。	C
		◇ 団体支援策として補助金 30,000円を交付した。	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	33. 筑紫野市青少年育成市民会議補助事業	● 青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす活動を支援する。	B
		◇ 団体支援策として補助金 200,000円を交付した。 ・ 市民フォーラム：テーマ「私ができる地域貢献」 参加者 230人 ※5中学校、4高校の代表によるパネルディスカッション ・ 青少年の健全育成に係る情報交換	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	34. 子ども会リーダースクール事業	● 子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。	A
		◇ 新リーダースクール、夏スクール(キャンプ)、秋スクール(子ども会あそび広場)の実施 ① 夏のリーダースクール 8月23日(土)～24日(日) ・ 会場：竜岩自然の家 ・ 参加者：子ども会リーダー 45名、ジュニアリーダー 4名、育成会、スタッフ等：31名 ② 秋スクール「子ども体験遊びリンピック」10月27日(土) ・ 会場：天拝小学校 ・ 参加者：子ども会リーダー：38名、ジュニアリーダー：3名、育成会、スタッフ等：20名	

		<p>③新子ども会リーダースクール 3月1日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場(全3会場):生涯学習センター(2会場)、カミーリヤ ・参加者:子ども会リーダー:105名 育成会、講師、スタッフ等:100名 	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	35. 子ども会育成会指導者研修会事業	<p>●子ども会活動を支援する育成会の役割とその支援のあり方を学ぶことにより、子ども会育成会が円滑に運営される。</p> <p>◇育成会研修会 4月27日(日) テーマ:『真の「学力」～感性が育つ環境づくり～』 講師:日田市大山公民館館長 ワトソン・ロバート 氏</p>	C
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	36. 筑紫野市青少年指導員会補助事業	<p>●青少年指導員の自主的活動を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金90,000円を交付した。</p>	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	37. 少年指導員会事業	<p>●他市町の指導員会と連携協力し、必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。</p> <p>◇青少年の健全育成、非行防止のための事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催の定例会において情報交換 ・校区内危険箇所の巡回(実施回数:24回) ・視察・研修:人吉農芸学院 10月23日(木)～24日(金) 	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	38. 成人式事業	<p>●成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。</p> <p>◇「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に式典を実施(※実行委員会により)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:平成27年1月11日(日) ・会場:筑紫野市文化会館 ・参加者:761人(出席率72%) ・記念品:印鑑フォルダー・スマホスタンド&クリーナー ・対象者:1,056人 ・内容:記念式典、記念行事(恩師からのビデオメッセージ・抽選会) 	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	39. 青少年育成事業(BGレンジャー)補助事業	<p>●様々な体験活動や行事等を通じて、心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。</p> <p>◇心豊かな青少年の育成とまちづくりを推進するための事業支援策として、事業に補助金総額300,000円を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規分:1件、100,000円 永岡区:永岡区実行委員会 100,000円 ・継続分:4件、200,000円 	A

		湯町区：湯町公民館お泊り実行委員会 70,000円 大石区：大石区BGレンジャー実行委員会 70,000円 若江区：若江振興太鼓継承実行委員会 30,000円 山家区：山家の歴史を学ぶ会実行委員会 30,000円	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	40. 子どもフェスティバル事業補助事業	●子どもたちが、友達と協力しあって地域でいきいきと遊ぶことができている。 ◇第14回子どもフェスティバルちくしの&第23回子ども市を実行委員会形式で実施 期日：平成26年4月26日（日） 会場：カミーリヤ 内容：子ども市、昔遊びコーナー、ちびっこ遊びコーナー、人形劇、おもちゃ病院、等	C
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	41. 夏休み学校外活動事業	●地域の方との交流を通じて子どもたちに「世代間交流」や「同世代と一緒に、外で体を動かして遊ぶ楽しさ」を体験させることにより、子どもたちが地域の中での遊びを通じて生きる力を身につけ、また、地域全体で子どもを見守っていく環境を育てる。 ◇「ステキな夏休み教室」を下記の3公民館で実施 ①宮の森公民館 ・期日：8月5～7日（3日）；9：30～15：00 ・参加者：14人 ボランティア：33人 ②牛島公民館 ・期日：8月18～21日（4日）；9：30～15：00 ・参加者：20人 ボランティア：22人 ③桜台公民館 ・期日：8月21～23日（3日）；9：30～15：00 ・参加者：10人 ボランティア：27人	A
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	42. 放課後子ども教室事業	●放課後や週末に小学校の余裕教室等を使用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりを図る。 ○実施広場なし	C
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	43. 筑紫野市通学合宿推進事業	●たくましく豊かな心を育てる（自主性、協調性）、家庭教育を見直す、地域で子どもを育む気運を高める。 ◇地域力の向上と子どもたちの成長を目的とする。 ①山家区通学合宿 6泊7日（7月6～12日） ・参加 23人 ・ボランティア（延数）234人	B

学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	44. 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助事業	<p>●市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された筑紫野市子ども会育成会連絡協議会を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金495,000円を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KYT（危険予知）講習会 参加者 81人 ・子ども会サミット2014 in 竜岩 参加者 80人 ・市人権問題啓発機関団体研修会 参加者 42人 ・ちくしのカルタ大会 参加者 158人 ・校区别現新役員懇談会（市内7会場） 	B
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	45. キッズ・ウィンドー発行事業	<p>●子ども向けの情報誌を作成し配布することにより、子どもたちの体験活動の推進を図る。</p> <p>◇子ども情報誌「キッズ・ウィンドー」の発行 7月、10月、3月 各13,500部発行</p> <p>配布先：</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内各小学校・中学校 9,575部、高校50部 市役所・市施設等 3,702部 市内公共施設、各郵便局、農協等 173部 	C
青少年指導者の確保、育成	46. 青少年指導員事業	<p>●青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るため筑紫野市青少年指導員を置く。 指導員数：55人（各小学校区：5人）</p> <p>◇青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るための活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校区別巡回・筑紫地区一斉パトロール ・役員会における情報交換 ・校区别主催事業：筑紫小フットベースボール大会、山家小一泊研修 ・研修会：教育講演「万引き防止と対策について」 	A
悩み相談の充実	47. ヤングテレフォン相談事業	<p>●青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的とする。</p> <p>◇青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行った。（件数 484回）</p> <p>PRカード配布、ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校全生徒配布用（5月） ・高校掲示用（5月） 	A

施策の総合推進	48. 竜岩自然の家主 催講座事業	<p>●施設を取り巻く豊かな自然環境や学習資源を生かしながら、多彩な学習プログラムの提供を図り、利用者の自然体験活動等の体験者を増やす。</p>	A																																				
		<p>◇市民の自然体験活動等の推進を図るための主催事業を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>・ドラゴンロックフェスタ</td> <td>参加者</td> <td>740人</td> </tr> <tr> <td>・フリーライミング教室</td> <td>参加者</td> <td>630人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(少年333人 一般297人)</td> </tr> <tr> <td>・工作教室</td> <td>参加者</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>・ニュースポーツ&野外ゲーム</td> <td>参加者</td> <td>218人</td> </tr> <tr> <td>・季節のむかしおやつ作り</td> <td>参加者</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>・ファミリーキャンプ</td> <td>参加者</td> <td>169人</td> </tr> <tr> <td>・初心者登山教室</td> <td>参加者</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>・野鳥観察会</td> <td>参加者</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>・ほっけんぎょう</td> <td>参加者</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>・しめ飾り作り</td> <td>参加者</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>・ボランティア研修会</td> <td>参加者</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>・1Dayキャンプ</td> <td>参加者</td> <td>44人</td> </tr> </table>		・ドラゴンロックフェスタ	参加者	740人	・フリーライミング教室	参加者	630人	(少年333人 一般297人)			・工作教室	参加者	136人	・ニュースポーツ&野外ゲーム	参加者	218人	・季節のむかしおやつ作り	参加者	65人	・ファミリーキャンプ	参加者	169人	・初心者登山教室	参加者	53人	・野鳥観察会	参加者	127人	・ほっけんぎょう	参加者	45人	・しめ飾り作り	参加者	23人	・ボランティア研修会	参加者	38人
・ドラゴンロックフェスタ	参加者	740人																																					
・フリーライミング教室	参加者	630人																																					
(少年333人 一般297人)																																							
・工作教室	参加者	136人																																					
・ニュースポーツ&野外ゲーム	参加者	218人																																					
・季節のむかしおやつ作り	参加者	65人																																					
・ファミリーキャンプ	参加者	169人																																					
・初心者登山教室	参加者	53人																																					
・野鳥観察会	参加者	127人																																					
・ほっけんぎょう	参加者	45人																																					
・しめ飾り作り	参加者	23人																																					
・ボランティア研修会	参加者	38人																																					
・1Dayキャンプ	参加者	44人																																					

3. 生涯学習・社会教育の推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	49. 小地区公民館講座推進事業	<p>●小地区公民館における主催講座の開催を促し、学習支援の推進を図ることにより、市民ニーズに応じた学習機会が提供される。</p> <p>◇地域の活性化やまちづくりにつながる学習が行われた。</p> <p>講座内容 教育： 5 講座（星空観察会・子ども囲碁・書道他） 教養： 1 2 講座（琴の鑑賞・民舞・歴史講座他） 文化： 4 講座（しめ縄作り・注連縄作り） 実用： 2 0 講座（パソコン・連風作り・そば作り・陶芸他） 合計： 4 1 講座</p> <p>※小地区公民館では、教育・実用・趣味等多岐にわたり、様々な学習が行われている。地域の活性化、まちづくりにつながる学習効果は高いと思われる。</p>	A
学習ニーズに応じた学習機会の充実	50. 学びをつなぐ講座事業	<p>●人権尊重の明るいまちづくりのため、学習を通し人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇人権啓発、人権学習のための講座を行った。</p> <p>講座内容 テーマ：「自らの手で 人間の解放を！」～近世被差別民のくらし～（全8回）</p> <p>1 5月15日 参加：25人 開講式講座「『解放令ってなあに？』」足が地に着かない喜び！そして「ぬか喜び！」</p> <p>2 6月19日 参加：23人 「学校を建てた！ 家も広うなる！」自分たちで“平民”になる人々の立ちあがり</p> <p>3 7月17日 参加：22人 「人の世に熱あれ！ 人間に光あれ！」1000カ所をこす水平社の結成・なぜ？</p> <p>4 9月18日 参加：22人 「私たちは何故に学校へ通うのでしょうか！」子どもたちが作った水平社宣言を読もう</p> <p>5 10月16日 参加：17人 「冬来たりなば、春遠からじ！」井元麟之(りんし)(もと全国水平社事務局長)さんに学ぼう①</p> <p>6 11月20日 参加：13人 館外学習 「吉井地区フィールドワーク」他</p> <p>7 12月18日 参加：23人 「結婚したら 有罪！？・・・」井元麟之(りんし)(もと全国水</p>	B

		<p>平社事務局長)さんに学ぼう①</p> <p>8 1月15日 参加：20人</p> <p>閉校式講座 「まとめとして」明治期から戦前までの一応のまとめ</p>	
学習ニーズに応じた学習機会会の充実	51. ちくしの高年大学事業	<p>●高齢者が豊かな経験を生かして社会参加を実践するための学習を奨めるとともに、受講生相互の親睦を深め、生きがいを見出す。</p> <p>◇受講生数 88名</p> <p>1. 教養講座 6回</p> <p>①活動発表：1回 題目：「自分色の生き方を見つけよう」</p> <p>②経済：1回 題目：「これからの高齢者の経済と暮らし」</p> <p>③生活：1回 題目：「高齢者を対象とした犯罪の現状と対応」</p> <p>④健康：1回 題目：「自力で健康に」</p> <p>⑤健康：2回 題目：「高齢者の住環境から見る健康」</p> <p>⑥人権：1回 題目：「メディアから見る男女」</p> <p>⑦学習実践発表会：1回</p> <p>⑧作品展：1回</p> <p>2. 専門講座：13回</p> <p>①郷土史 14人 ②太極拳 11人 ③合唱 23人</p> <p>④絵画 13人 ⑤紙版画 8人</p> <p>⑥健康レクササイズ 19人</p> <p>3. クラブ活動：8回</p> <p>社会参加のための技術習得及び実習</p> <p>4. 社会参加活動</p> <p>夏休み期間中の小学生を対象とした「夏休み工作教室」を実施、工作指導を行なう。</p> <p>各地区の小学生参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月28日(月)：山家地区(山家コミセン) 49人 ・7月29日(火)：山口地区(山口コミセン) 87人 ・7月30日(水)：二日市地区(二日市コミセン) 51人 ・7月31日(木)：筑紫南地区(筑紫南コミセン) 94人 ・8月1日(金)：御笠地区(御笠コミセン) 55人 ・8月4日(月)：筑紫地区(筑紫コミセン) 29人 <p style="text-align: right;">合計 365人</p> <p>高年大学支援者数 延人数：241人 保護者：4人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万葉の里ウォーキングの支援 11月9日(日)雨天中止(3Kmファミリーコース) <p>5. 学習成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習フェスティバルでの学習発表及び子どもたちの体験学習の場の設置 10月25～26日 ・学習実践発表会 2月3日 ・作品展 2月3～16日 	B

学習ニーズに応じた学習機会の充実	52. いきいき人権ライフセミナー事業	<p>●身近にある差別や人権問題をテーマとした学習の機会を提供し、人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇同和問題の入門コースとして、教職員を中心に人権問題を学習した。</p> <p>学習内容（全4回） 講師：園田 久子 先生 （福岡県人権研究所理事、福岡女学院大学・九州大谷短大講師）</p> <p>① 7月1日（火） 参加：66人 「開講式 質問してみよう！「同和問題」いつ？なぜ？今？何が？」</p> <p>② 7月8日（火） 参加：41人 「働いて、生きてきた！」横ならびの身分図 と 被差別民のくらし</p> <p>③ 7月22日（火） 参加：94人 「ケガレ」を「キヨメ」る人々「キヨメ」る動作が・・・「芸能」に！</p> <p>④ 8月5日（火） 参加：52人 「今」－私たちのもんだい！民主主義社会の底上げ・土台づくり</p>	A
学習ニーズに応じた学習機会の充実	53. ちくしの文化講座事業	<p>●市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動が行われている。</p> <p>◇市民の様々なニーズに応じた学習を提供した。</p> <p>講座内容</p> <p>①趣味教養講座 814人(定員1,197人)延3,799人 ・定期講座 : 24講座 ・1日体験講座 : 6講座 (ジュニア講座・音楽講座・暮らし実用講座・手芸工芸講座・外国語講座・歴史講座など)</p> <p>②料理講座30講座 419人(定員648人)延615人</p> <p>③パソコン講座22講座 149人(定員328人)延560人</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	54. 筑紫南コミュニティセンター図書室運営事業	<p>●図書室の事業を活用し、学習活動や地域住民の交流により地域づくりが展開される。</p> <p>◇市民協働事業として、平成20年度から「はらっぱの会」に委託し、図書室の運営や地域づくり・人づくりのための事業を行った。</p> <p>活動内容</p>	A

		<ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用者数 17,431人 ・図書貸し出し冊数 26,539冊 ・図書室主催講座 16回 <p>講座内容：わらべうた、リトミックなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙教室 44回 ・すこやか広場（育児相談） 2回 ・講演会 1回 ・出張おはなし会 2回 	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	55. 生涯学習ボランティア事業	<p>●市民がボランティアバンク事業を活用し、地域づくりや学習活動が展開されている。</p> <p>◇市民協働事業として、平成18年度から「筑紫野市ボランティアバンクの会」に委託し、様々な活動を行なった。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録、派遣事業（学習相談・コーディネート） ・ボランティアバンク情報の提供、発信（HP・広報誌の発行など） ・ボランティア活動の支援 ・地域活性化事業「このゆびとまれ」 場所 市内各コミセン ・ボランティア研修会・学習会 年4回 <p>①平成26年5月16日（金） 参加：22人 ②平成26年9月19日（金） 参加：23人 ③平成27年2月7日（土） 参加：105人 ④平成27年2月25日（水） 参加：17人</p> <p>平成26年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 1,678人 <li style="padding-left: 20px;">個人 1,144人 <li style="padding-left: 20px;">団体 40グループ（534人） ・ボランティア派遣件数 319件 ・ボランティア派遣人数 延4,756人 ・市民利用者数 延95,962人 	A
学習ニーズに応じた学習機会の充実	56. 生涯学習フェスティバル事業	<p>●学習グループが日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。</p> <p>◇様々な機関団体や学習グループが集い、連携しながら、学習成果の発表の場、交流の場として、作品展示、ステージ発表、バザーなどを行った。また、人権、男女共同参画など行政啓発活動も行った。</p> <p>☆日 時 平成26年10月25～26日（土・日曜日）</p>	A

		<p>☆参加団体(人数) 1 1 1 団体</p> <p>☆観覧者数 2日延べ 10,000人</p> <p>①実行委員会 6回</p> <p>②企画委員会 8回</p> <p>③各担当会議 18回</p> <p>内訳 イベント担当会議 4回</p> <p>ステージ担当会議 4回</p> <p>会場用具担当会議 4回</p> <p>広報・案内担当会議 6回</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	57. 市民大学講座事業	<p>●市民の学習機会とニーズに応え生涯学習の推進に努めることにより、家庭や地域の教育力が高まる。</p> <p>◇学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 6月2日(月) 参加70人 テーマ:安倍政権の課題と展望 講師:藪野祐三(九州大学名誉教授) ・第2回 7月7日(月) 参加64人 テーマ:安全保障問題の基礎知識 講師:横田 耕一(九州大学名誉教授) ・第3回 10月6日(月) 参加58人 テーマ:知って得する法律知識 講師:浦田 秀徳(ちくし法律事務所 代表弁護士) ・第4回 11月10日(月) 参加59人 テーマ:古典「源氏物語」「平家物語」を読む喜び楽しみ 講師:飯田 栄彦(児童文学作家) ・第5回 12月1日(月) 参加55人 テーマ:がんを知りましょう 自分を守るために 講師:宮原 典子(NPO法人ハッピーマン 理事) ・第6回 1月19日(月) 参加40人 テーマ:「人権・同和問題との豊かな出会いを」 ～人として、今、大切なこと～ 講師:長野 健一(人権政策課長) ・第7回 2月2日(月) 参加56人 テーマ:安倍政権の行方と地方の明日 講師:友安 潔(西日本新聞社 編集局次長) ・第8回 3月2日(月) 参加49人 テーマ:日本の和紙技術 世界無形文化遺産登録をめぐって 講師:狩野啓子(久留米大学教授) 	C

<p>学習ニーズに応じた学習機 会の充実</p>	<p>58. 家庭教育学級事 業</p>	<p>●『子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親となる』ことを目的とする。家庭教育学級間の情報交流を行い、合同企画事業を実施することにより、各家庭教育学級における活発な学習活動により家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>◇より良い子育てを目指し、親として教育力を高める為の様々な学習会や情報交流会を計画的、継続的且つ集団的に行い、保護者間のつながりの強化や家庭の教育力の向上を図った。 現在、市内各小学校 1 1 学級、中学校 5 学級、夜の学級 1 学級の計 1 7 学級、学級生数 4 5 2 名</p> <p>●事業実績</p> <p>1. 1 7 学級全体での学習活動</p> <p>① 合同開講式 5 月 2 2 日 (木) 講演会参加 1 5 1 人 「イカリヲアゲロ～もしも僕が気付いたのなら僕にも できることがある～」 講師：チキンナゲッツ</p> <p>② 合同レクリエーション 6 月 2 0 日 (金) 参加 1 6 1 人 ・準備運動・整理運動講師：大山 花司己 ・審判講習会：スポーツ推進委員 2 人</p> <p>③ 合同研修会 1 1 月 2 0 日 (木) *全体会参加 1 6 2 人 「子ども達を輝かせるために～子どもは未来人～」 講師：添田 譲二 * 3 分科会 参加 1 2 9 人 (2 3 人、5 9 人、4 7 人) 講師：置鮎 正則、豊田 晴子、加藤 良依</p> <p>2. 各学級での学習活動</p> <p>4 月 学級生募集 5 月 各学級での開講式 6 月より 各学級で各々学級プログラムに沿って 6 回～1 0 回学習会実施 年間 計 1 3 0 回、参加延べ 1, 7 4 0 人</p> <p>3 家庭教育学級連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 7 学級より 3 ～ 6 名の役員、計 7 2 人 ・ 1 7 学級間の活動促進、情報交換、相互の連携と親睦を図るため毎月 1 回定例会議、役員会を実施。研修会なども実施し、家庭教育学級の充実に取り組んでいる。 <p>4 文集 あゆみ編集・発行</p> <p>教育長の言葉、新転任の校長先生より、推進方策、連絡会規約合同行事、1 7 学級の各学習内容など 1 年間の活動状況をまとめた冊子。</p> <p>1 年間の学級の取り組みをふり返り、その成果や問題点を整理し、次年度につなげる活動のあり方や内容の充実に図るためのものである。学級生全員で作り上げる。</p>	<p>B</p>
------------------------------	------------------------------	--	----------

文化財・文化芸術活動の充実	59. ちくしの子ども劇場補助事業	<p>●地域の中で子どもたちがいきいきとした「子ども時代」を過ごすための環境づくりを目指す。また、子どもたちに芸術に親しむ心と感受性を育てるとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起する。</p> <p>◇子どもの諸活動に関する事業（子どもフェスティバル、子どもキャンプ等）、子どものための優れた舞台芸術関連事業（11作品）、子どもの表現活動（わくわくステージ）、子どもの権利条約普及啓発事業、子育て支援関連事業（パートナー講座）などを通して子ども達が生き生きと活動できる環境を提供することができた。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	60. 市文化協会補助事業	<p>●連合会への加盟団体が増加し、市民の芸術文化事業が盛んになること。連合会の事業が継続され、多様な事業がおこなわれること。安定した運営がおこなわれること。</p> <p>◇ふくおか県民文化祭福岡Ⅱブロックin筑紫野の開催市として、地域性を活かした舞台・文芸美術展示を行い、文化団体間の交流を図るとともに、市民の文化芸術への関心と高揚を図ることができた。文化協会30周年記念第5回文化祭を開催した。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	61. ちくしの歴史・文化発信事業	<p>●地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図る。</p> <p>①市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図る。</p> <p>②市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうと伴にこれを支援する。</p> <p>③学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行なう。</p> <p>◇4月に柚須原の柚須原観音坐像が市の有形文化財に指定されたことを記念した企画展や講座等を実施し、市民に地域の歴史への理解を深めた。また、体験学習やゲストティーチャーなど小中学校の学習支援を行うとともに、コミセンへの講師派遣など市民学習の支援を行った。</p> <p>1. 展示（企画展／4事業、ロビー展示／通年）</p> <p>「武蔵寺と二日市温泉」展 4月26日～6月22日 来館者2, 739人</p> <p>「南北朝時代の筑紫野」展 7月12日～9月7日 来館者2, 544人</p> <p>「筑紫野の酒に関する資料」展 10月4日～11月24日 来館者1, 497人</p> <p>「昔の暮らし」展 12月20日～3月29日 来館者3, 268人</p> <p>2. 学芸員関係（3事業）</p> <p>①講座等</p> <p>・企画展関連歴史講座（8月2日・8月9日・11月8日）</p>	A

		<ul style="list-style-type: none"> ・市民歴史ゼミナール（1月24日・2月28日・3月28日） ・キッズ歴史講座（7月26日・8月1日） ②支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習支援／来館14校／ゲストティーチャー4校 ・職場体験等受入れ／5校 ・コミセン等への学芸員派遣／16回 ③他館との共同事業（九州国立博物館）／2件、6回 3. 資料貸出／410点 資料閲覧／299点 レファレンス／367件 回想法にかかる資料貸し出し(随時) 	
文化財・文化芸術活動の充実	62. 資料収集保管事業	<p>●資料を収集し、適切に保存・管理することにより、活用できる状態にする。</p> <p>◇郷土資料の収集・整理・保存を行うとともに、収蔵資料の活用を図った。またIPM（総合的有害生物管理）の視点による博物館の日常管理と文化財害虫モニタリングを行い、館内環境の改善を行った。</p> <p>資料収集／697点 資料貸出／410件 資料閲覧／299点 写真提供／139点 文化財有害生物モニタリング業務</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	63. 人形劇のあるまち推進事業	<p>●芸術作品の創作、人形劇の鑑賞を通して、ゆとりある心豊かな青少年・少女を育てる。</p> <p>◇多くの親子連れが参加し、人形劇を通じて親子が感動を共有し、また子どものゆたかな心を育てる場を提供することができた。</p> <p>地域公演を行い、まつり以外でも人形劇を観る機会を提供できた。</p> <p>まつりをサポートする人を育成するため講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちくしの人形劇まつり（11月30日）参加者延べ2,324名 ・ちくしの人形劇まつりin筑紫（7月20日）参加者48名 ・ちくしの人形劇まつりin山家（11月2日）参加者118名 ・サポーターズ講座（6月29日・7月6日・9月14日） 	A
文化財・文化芸術活動の充実	64. 長崎街道筑前六宿開通400年記念事業	<p>●各宿場の代表者及び行政、学識者等から構成された実行委員会方式により、長崎街道開通400年記念事業を実施する。</p> <p>◇「長崎街道筑前六宿子どもサミット」は、7月26日に北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館こやのせ座で開催し、筑前六宿にある小学校6校の児童195人がそれぞれの宿場を紹介して交流を深めた。</p>	A

		「長崎街道筑前六宿ウォーキング大会」は、第1回を9月27日に黒崎宿～小倉常盤橋、第2回を11月29日に原田宿～飯塚宿、第3回を3月14日に飯塚宿～黒崎宿と分けて行い、県内外から参加した総計451人が筑前六宿の風情を楽しんだ。	
文化財・文化芸術活動の充実	65. 城山三連橋梁試掘調査事業	●①個人の専用住宅建設敷地内の埋蔵文化財を記録保存し、公開活用を行う。 ②国登録有形文化財旧九州鉄道城山三連橋梁の遺存状況を把握するため、確認調査を行う。 ◇平成26年度から実施の予定であったが、県文化財保護課、関係課と協議の結果、平成27年度から実施することとなった。	B
文化財・文化芸術活動の充実	66. 阿志岐山城跡保存整備事業	●阿志岐山城跡を一般公開できるようにすることで、市民に国指定の史跡を見学し、文化に親しみをもってもらおう。 ◇文化庁の指導基準の変更に伴い、基本構想・基本計画の策定を一時中断し、保存管理計画策定の準備を行った。	B
文化財・文化芸術活動の充実	67. 御笠地区史跡保存整備事業計画調査事業	●御笠地区の国指定史跡（宝満山遺跡・阿志岐山城跡）を活用し、地域生活基盤の強化・地域経済の向上、地域雇用の拡充を図るための史跡整備を行う。 ◇地元協議を進めながら、計画の具体化を図るために用地選定について検討した。	B
文化財・文化芸術活動の充実	68. 旧西鉄筑紫駅舎移設整備事業	●「旧西鉄筑紫駅舎」の保存・活用を図る。 ◇平成27年度に移設工事を実施するため、建設課建築担当に事務委任し「旧筑紫駅舎覆屋建築工事設計業務委託」を行った。	A
社会教育施設の充実	69. 図書館運営事業	●すべての市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民が本に親しむ。 ◇平成26年度図書館運営事業指数 ・貸出総冊数 687,774冊 ・利用者総数 150,731人 講座等 子どもの読書推進公演会1回、子どもと読書講座2回、夏休み子ども教室1回、夜間講演会1回、歴史講座1回、読書推進講演会1回 ブックスタート事業12回（参加児童614人） 定例おはなし会 91回 移動図書館事業：39ステーション巡回 ブックスタートボランティア講座 3回 参加延べ32名 職場体験：2校 施設見学：小学校7校 図書館司書実習：1名受入れ	B

社会教育施設の充実	70. 図書・視聴覚資料 購入事業	<p>●文化と教養が高まる。 図書資料等購入により読者の要望が満たされる。</p> <p>◇平成26年度図書・視聴覚購入事業</p> <p>*図書等購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書、視聴覚資料 19,981,187円 ・新聞、雑誌等 3,919,883円 <p>*書誌情報作成委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書誌、雑誌・視聴覚情報作成委託料 2,513,410円 	A
社会教育施設の充実	71. 生涯学習センター 施設予約システム更新事業	<p>●生涯学習関連施設の市民の利用に関し、その利便性を向上する。</p> <p>◇生涯学習センター、コミュニティセンターなどでシステムを活用している。</p>	A
社会教育施設の充実	72. 子どもの読書活動 推進事業	<p>●「筑紫野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を総合的に推進する。</p> <p>◇平成26年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野市子どもの読書活動推進会議 会議回数 2回 ・筑紫野市子どもの読書活動推進担当者部会 会議回数 4回 ・よみきかせカードの作成・配布 ・「ちくしの子ども読書の日」啓発しおりイラスト募集事業 	B
施策の総合推進	73. 筑紫地区社会教育 振興協議会（公民館部会）	<p>●筑紫地区における公民館事業等の現状や課題などの情報交換を行い、公民館活動が活性化している。</p> <p>◇社会教育公民館事業についての学習会研修会や4市1町での事業の情報交換会などを行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館部会（5回） 大会参加 ・福岡県公民館大会 7月31日（木） 春日市クローバープラザ 参加者 32名 ・福岡県公民館実践交流会 2月13日（金） 春日市クローバープラザ 参加者 23名 ・福岡地区公民館研修会 2月28日（土） レスポアール久山 参加者 14名 	B

<p>施策の総合推進</p>	<p>74. 小地区公民館連絡協議会補助事業</p>	<p>●市内の各小地区公民館活動を充実させることにより、市民が学習活動、地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるようになる。</p> <p>◇活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会・五役会・理事会 回数（総会1回・五役会5回・理事会4回） ・小地区公民館館長・主事等研修会 日時：6月14日（土） 参加者：92人 ・九州地区公民館研究大会 場所：鹿児島市 日時：8月28日（木）～29日（金） 参加者：14人 ・筑紫野市小公連推進大会 場所：さんあいホール 日時：9月6日（土） 参加者：340人 ・地区別視察研修会 <ul style="list-style-type: none"> 山家地区 日時：1月17日（土） 参加者：150人 山口地区 日時：2月 7日（土） 参加者：48人 二日市地区 日時：2月 8日（日） 参加者：73人 御笠地区 日時：2月22日（日） 参加者：41人 筑紫地区 日時：3月 7日（土） 参加者：46人 ・福岡地区公民館研修会 場所 久山町 日時：2月28日（土） 参加者：14人 	<p>A</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>75. 小地区公民館主事設置補助事業</p>	<p>●地域における社会教育活動の振興を図るため、公民館主事を設置することで、生涯学習活動・地域活動が活性化し公民館が地域の交流の場や地域活動の拠点になる。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、小地区公民館主事の設置を促進することを目的する。</p> <p>補助対象者数 84人</p> <p>補助金額 補助対象主事数</p> <p>24,000円 → 32人</p> <p>36,000円 → 52人</p>	<p>A</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>76. 市立学校PTA協議会補助事業</p>	<p>●各学校とPTAとの連携を深めることにより、児童・生徒の健全な育成と保護者・教職員の資質向上及び教育の振興を図る。</p> <p>◇支援策として補助金432,000円を交付した。 （27,000円×16校）</p> <p>協議会の活動内容</p> <p>広報研修会、委員合同研修会、市長・教育委員会・校長・合同懇談会、スポーツ研修会、人権問題研修会</p>	<p>A</p>

<p>施策の総合推進</p>	<p>77. 市婦人会補助事業</p>	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇女性の地位向上と社会参加をめざし、各機関団体と協力し、地域の福祉活動にも貢献した。 会員数324人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性大学（婦人会主催）36学級 ・市民大学（委託事業）8講座 青少年支援事業 5学級 （小学生書道(A)(B)(C)・絵画・そろばん教室） ・子育て支援事業 1学級（楽しくクッキング教室） ・婦人会同和教育推進 講座、研修会等に出席 ・消費者友の会 暴力追放啓発、結核予防、赤い羽根共同募金 ・生涯学習フェスティバルに出店、展示、ステージ発表 ・古紙回収活動 6回 5,410kg 	<p>B</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>78. 各地区婦人会補助事業</p>	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇御笠コミュニティ女性会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月28日 手芸教室 ・9月24日 いきいきライフ学習会 ・10月29日 手芸教室 ・11月27日 館外視察研修会 ・11月8～9日 御笠地区市民文化祭 体験コーナー担当 展示, 学習活動の紹介 ステージ参加 ・12月26日 生け花教室 ・1月24日 男女共同参画推進学習会 ・2月19日 クッキング教室 ・吉木小学校区子どもアンビシャス広場に協力 通常広場開所 月2回（水・金）80回 その他イベント 9回 	<p>B</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>79. 女性大学講座補助事業</p>	<p>●趣味的なものから学術的なものまで多面にわたる講座を開催することにより女性の地位向上を図る。</p> <p>◇女性の地位向上に向け、様々な講座が実施された。</p> <p>講座内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 第1・2・3月曜日 社交ダンス・ハワイアンフラダンス 書道教室・卓球教室A, B, C ② 第1・2・3火曜日 日舞教室・ゴルフ ③ 第1・2・3水曜日 民謡・三味線・カラオケ・太極拳・ 卓球教室・洋裁教室・リフォーム教室 	<p>C</p>

		<p>④ 第1・2・3木曜日 太極拳・健康教室</p> <p>⑤ 第2・3・4金曜日 歌謡教室</p> <p>⑥ 第1・2・3土曜日 詩吟教室</p> <p>⑦ 第1・3火曜日 生花教室</p> <p>⑧ 第1・3木曜日 生花教室・茶道教室</p> <p>⑨ 第1・3金曜日 かな書道・歌謡教室</p> <p>⑩ 第2・4月曜日 パッチワーク教室</p> <p>⑪ 第2・4火曜日 コーラス</p> <p>⑫ 第2・4水曜日 トールペイント</p> <p>⑬ 第2・4木曜日 夜間ペン、かな書道・トールペイント</p> <p>⑭ 第2・4金曜日 ペン習字1、2・茶道・水墨画・手編み</p> <p>⑮ 第2・4土曜日 書道入門</p> <p>⑯ 第2水曜日 クッキング、歌謡教室</p> <p>⑰ 第4水曜日 男性料理専科</p>																					
施策の総合推進	80. 生涯学習センター自主学習グループ連絡会補助事業	<p>●自主学習グループの成果を持ち寄り、市民に公開・交流を行う。</p> <p>◇活動内容</p> <p>①自主学習グループまつり（生涯学習フェスティバルに参画）実行委員会を結成し5回開催（反省会を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ発表 29グループ ・作品展示 10グループ ・バザー出展 5グループ ・体験学習 3グループ ・グループ紹介 <p>②館外学習 参加：86人 5月29日（木） 大分県白杵市</p> <p>③館内学習 参加：72人 2月5日（木） 「どうしたらいいの 認知症！」</p> <p>④総会：1回、四役会：10回、理事会：11回、代表者会：8回</p>	C																				
施策の総合推進	81. コミュニティ主催事業	<p>●地域の豊かな学習資源を生かした学習機会の提供をはかり、学習の成果を活かして、地域やコミュニティ施設における生涯学習活動や地域活動に参画する。</p> <p>◇郷土の歴史や健康、料理など地域や生活に密着した講座を行なった。</p> <p>講座内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・二日市コミセン</td> <td>8講座</td> <td>195人</td> <td>2,090人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 歴史講座、シニア音楽サロン、健康講座など</td> </tr> <tr> <td>・山口コミセン</td> <td>10講座</td> <td>324人</td> <td>2,805人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">講座名 史跡めぐり 里山ウォーキングなど</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	講座数	参加者数	延人数	・二日市コミセン	8講座	195人	2,090人	講座名 歴史講座、シニア音楽サロン、健康講座など				・山口コミセン	10講座	324人	2,805人	講座名 史跡めぐり 里山ウォーキングなど				A
施設名	講座数	参加者数	延人数																				
・二日市コミセン	8講座	195人	2,090人																				
講座名 歴史講座、シニア音楽サロン、健康講座など																							
・山口コミセン	10講座	324人	2,805人																				
講座名 史跡めぐり 里山ウォーキングなど																							

		<ul style="list-style-type: none"> ・御笠コミセン 10講座 295人 1,524人 講座名 御笠を知らう26 スポチャレ倶楽部など ・山家コミセン 15講座 275人 2,876人 講座名 ちくしの歴史さんぽ すこやか健康クラブなど ・筑紫コミセン 14講座 931人 2,078人 講座名 男子ご飯ビギナーズ ちくしの郷土史講座など ・筑紫南コミセン 14講座 594人 2,421人 講座名 はつらつウォーキング、親子でエンジョイなど 6館合計 71講座 2,614人 13,794人 	
施設の総合推進	82. 小地区公民館設置補助事業	<p>●小地区公民館が地域のまちづくりや生涯学習などの活動拠点施設となっている。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、区が行なう小地区公民館の新築、改築及び修繕等の費用の補助を行なう。</p> <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築及び改築 2件 16,386千円 ・増築 0件 ・用地購入 0件 ・修繕 20件 23,066千円 	A

4. スポーツ・レクリエーションの推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価										
		◇ 活動状況等											
スポーツ施設の充実	83. 筑紫野市立小学校体育施設一般開放事業	<p>●市内小学校11校の体育館及び運動場を、毎週土曜日の午前中開放し、親子や地域子ども会等が自由に利用することで、地域や親子の触れ合いを増進させる。</p> <p>◇体育館・運動場開放延べ日数：390日 利用者数延べ人数 14,777人 (1日当り利用者数平均：37人)</p>	B										
スポーツ施設の充実	84. 中学校ナイター施設運営事業	<p>●市民に、ナイター設備のある2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの奨励を図る。</p> <p>◇利用者数：4,083人 (内訳) ・筑紫野中：2,825人 ・筑山中：1,258人</p>	A										
スポーツ施設の充実	85. 小中学校開放体育施設運営事業	<p>●小中学校体育施設を社会体育施設として開放し、各種スポーツの場の提供と、各種スポーツ団体及びグループの交流を促し、生涯スポーツの奨励を図る。</p> <p>◇小中学校16校の開放を行った。 ・年度当初に、学校開放運営委員会を開催し、定期団体の利用調整及び利用上の注意などの確認を行った。 ・定期団体以外の利用者の利用調整の実施</p>	B										
スポーツ施設の充実	86. 小学校プール市民開放事業	<p>●多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られる。</p> <p>◇利用可能プール：市内全小学校 11校 ・利用期間：夏期休暇期間（7月21日～8月12日）18日間 ・利用時間：10時～16時（12時～13時は昼休み） 利用者数：16,267人 (内訳) 子ども15,277人、大人990人</p>	B										
スポーツ施設の充実	87. 指定管理業務委託事業	<p>●民間の知識や技術を取り入れることにより、市民にとって魅力ある施設の運営を行い、利用者の増加を図る。</p> <p>◇施設の維持管理・運営に関する業務を委託し、効率的な業務を行った。 [指定管理者に委託した施設] ・各施設の利用状況 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td> <td style="text-align: right;">26,652人</td> </tr> <tr> <td>農業者トレーニングセンター</td> <td style="text-align: right;">75,891人</td> </tr> <tr> <td>筑紫運動広場</td> <td style="text-align: right;">20,347人</td> </tr> <tr> <td>山家スポーツ公園</td> <td style="text-align: right;">38,649人</td> </tr> <tr> <td>御笠運動広場</td> <td style="text-align: right;">13,614人</td> </tr> </table> </p>	勤労青少年ホーム	26,652人	農業者トレーニングセンター	75,891人	筑紫運動広場	20,347人	山家スポーツ公園	38,649人	御笠運動広場	13,614人	B
勤労青少年ホーム	26,652人												
農業者トレーニングセンター	75,891人												
筑紫運動広場	20,347人												
山家スポーツ公園	38,649人												
御笠運動広場	13,614人												

年齢や体力に応じたスポーツの振興	88. 天拝山ロードレース大会実行委員会補助事業	<p>●ロードレースを開催することにより、生涯スポーツを推進し、健康の増進及び体力の向上につなげる。</p> <p>◇平成26年11月23日に実施</p> <p>選手参加者</p> <table border="0"> <tr> <td>10.0km</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>5.0km</td> <td>370人</td> </tr> <tr> <td>2.5km</td> <td>261人</td> </tr> <tr> <td>万葉の筑紫路</td> <td>131人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>901人</td> </tr> </table>	10.0km	139人	5.0km	370人	2.5km	261人	万葉の筑紫路	131人	計	901人	B
10.0km	139人												
5.0km	370人												
2.5km	261人												
万葉の筑紫路	131人												
計	901人												
年齢や体力に応じたスポーツの振興	89. 各種事業・教室開催事業	<p>●市民のだれもが、いつでも、どこでも、自発的・主体的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして開催している。</p> <p>◇(大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳大会： 延べ246人参加 ・市民駅伝大会： 延べ489人参加 ・スポレク・フェスタ： 4,020人参加(教室) ・生涯スポーツセミナー 104人参加 ・福祉レクリエーション講習会 延べ151人参加 	A										
指導者・ボランティアの養成	90. スポーツ推進委員運営事業	<p>●スポーツ推進委員の能力を向上させ、地域住民に対してスポーツに関する指導・助言やスポーツに関する事業の支援を行えるようにする。</p> <p>◇各校区体育振興会等から推薦された25人と学識経験者2人の計27人をスポーツ推進委員として委嘱する。</p> <p>企画委員会(委員長、専門部長)及びスポーツ推進委員会を毎月それぞれ1回開催し、各校区の連絡調整やスポーツ推進委員の研修、市や団体の行事運営等への協力を行った。また、小学校のスポーツテストの補助や、地域活動への実技指導等も実施した。</p>	A										
施策の総合推進	91. 市体育協会補助事業	<p>●体育協会を支援し、体育協会に加入する多様なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。</p> <p>◇加盟団体数：21団体＋スポーツ少年団</p> <p>会員数：5,913人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回の代議員総会、報告会、加盟団体長の会を開催し、定期的に理事会、執行部会、評議員会及び専門委員会を開催 ・主催事業として、「宝満つばきマラソン大会」・体協研修会・少年スポーツ指導者研修会等を実施している。年2回、広報「体協だより」を発行 	B										

<p>施策の総合推進</p>	<p>92. 地域スポーツ推進補助事業</p>	<p>●各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの機会が増えるように支援する。</p> <p>◇（補助金の算定基礎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校区体育振興会に一律60,000円 ・市民体育祭補助として世帯数×50円+150,000円（市民体育祭開催実績） ・天拝小学校区（5月25日） ・筑紫小学校区（各行政区ごとに実施） ・筑紫東小学校区（10月6日） ・その他の校区は10月12日に開催 <p>※市民体育祭以外のスポーツイベントも各校区で開催（補助実績）</p> <p>4,142,950円</p>	<p>B</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>93. 全国大会出場補助事業</p>	<p>●全国大会に出場する個人、団体に対して、筑紫野市における社会体育に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。個人に20,000円、団体に200,000円補助する。</p> <p>◇全国大会等出場者への支援 補助金交付者 個人72人 団体 3団体</p>	<p>B</p>
<p>施策の総合推進</p>	<p>94. 生涯スポーツ振興事業</p>	<p>●生涯スポーツとして各種のスポーツ教室等を開催し、自分にあったスポーツを日常生活の中に取り入れる環境づくりをする。</p> <p>◇平成26年度 教室としては、ソフトテニス初心者（100人）・初心者弓道（120人）・1日テニス（14人）・サッカースクール（5,400人）・楽しいソフトボール（62人）が実施された。また、大会は、宝満つばきマラソン大会（1,093人）及び剣道大会（458人）の2大会が開催された。</p>	<p>B</p>

<認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成>

5. 人権意識の向上

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
市民・企業への人権意識の啓発	95. 人権問題啓発実行委員会運営事業	●すべての市民に人権意識の大切さを理解してもらう。 ◇・82行政区のうち81行政区で市民懇談会が開催された。 (参加者数：2,667名) ・機関団体研修については、21機関団体のうち20団体で実施 (参加者数：761名)	A
市民・企業への人権意識の啓発	96. 人権・同和問題啓発冊子の編集・発行事業	●人権問題に対する正しい認識と人権感覚豊かな市民の育成によって、人権が侵害されない市民生活ができるようになっている。 ◇・解放への一步第41集 10月15日発刊 ・広報「人権問題特集号」12月1日発刊 市内全世帯配布 ●発刊部数 各41,000部 ・人権作文集「くさび」3月1日発刊 児童・生徒を介してPTA及び公共施設を通して配布 ●発行部数 10,000部	B
市民・企業への人権意識の啓発	97. 行政区人権問題啓発推進委員会育成助成金	●市民の共同生活の場である行政区ごとに組織的な人権問題啓発活動の推進と学習活動を展開することによって、人権問題の早期解決を目指し、市民一人ひとりが人権意識の高揚に努め、人権を守り、差別をしない、させない、豊かな地域社会を実現する。 ◇82行政区すべてにおいて行政区人権問題啓発推進委員会が組織され、81行政区で市民懇談会が行われた。小学校区ごとの推進員研修会は、11小学校区中、10小学校区で実施した。	A
市民・企業への人権意識の啓発	98. 公民館等の機能を活かした人権教育活性化事業	●隣保館の機能を活かしてさまざまな事業を実施することにより、対象地域における住民相互のつながりを強化し、人権意識を高める取り組みによって地域の活性化をめざす。(H25～26年度文部科学省再委託事業) ◇地元を主体とした運営委員会を組織し、下記の事業を行った。 ・既存事業(イベント)について、イベント毎に実行委員会を組織し、イベントの充実、活性化を図った。 ・地域住民の郷土愛と交流を深めるため、新規イベント「写真deワークショップ」を開催した。 ・従来からの住民と区画整理事業後に転入した新規住民の、まちづくりに関する意識や関心を測るため住民アンケート調査を実施した。	B

同和問題の解決	99. 教科促進指導事業	●同和地区の児童生徒をはじめ、学習支援を要する児童生徒の学力を向上させる。	B
		◇市内隣保館を中心に嘱託職員を3名配置し、児童生徒の学力向上と、その達成のための基本的な生活習慣の改善を、家庭との連携を図りながら個に応じた指導している。	
同和問題の解決	100. 同和問題啓発強調月間事業	●同和問題の解決を、市民が自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため各種の啓発事業を集中的に実施し、差別を許さない社会づくりの構築に向けて取り組みを展開する。	B
		◇7月同和問題講演会（参加者 842名） ・講演「いのちを食べて、いのちは生きる」～映画「ある精肉店のはなし」より～ 講師 映画監督 瀧瀬 あやさん ・街頭啓発 ・各課等での同和問題研修の実施 その他の事業を事業計画に基づき実施	
同和問題の解決	101. 各部運営学級育成補助事業（女性部）	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。女性部 247人 延べ人数 ①研修会（女性集会・識字担当者研修会） 231人 ②全体学習会 451人 ③健康学習会（栄養教室） 90人 ④福祉学習会（福祉対策会議） 0人 ⑤地域活動（子どもまつり・遊ゆうまつり） 20人 ⑥識字学級活動 2,581人 ⑦懇談会・交流会 34人 合計 3,407人	
同和問題の解決	102. 各部運営学級育成補助事業（子ども会）	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。	A
		◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。子ども会 55人 延べ人数 ①日常的活動（センターでの学習） 9,629人 ②合同学習、研修 0人 ③体験活動（合宿他） 164人 ④交流会（保育所・海水浴） 46人 ⑤野外活動（平和行進・キャンプ） 102人 ⑥地域活動（子どもまつり・オータム・カヌー） 62人 ⑦各種活動（ダンス教室・太鼓教室） 61人 合計 10,064人	

同和問題の解決	103. 各部運営学級育成補助事業（老人部）	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。老人部 225人</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①定例学習会</td> <td style="text-align: right;">931人</td> </tr> <tr> <td>②老人識字</td> <td style="text-align: right;">228人</td> </tr> <tr> <td>③研修会（館外で学習）</td> <td style="text-align: right;">199人</td> </tr> <tr> <td>④交流会（保育所・子ども会との交流）</td> <td style="text-align: right;">230人</td> </tr> <tr> <td>⑤各種教室（長生きがい教室）</td> <td style="text-align: right;">421人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,009人</td> </tr> </tbody> </table>		延べ人数	①定例学習会	931人	②老人識字	228人	③研修会（館外で学習）	199人	④交流会（保育所・子ども会との交流）	230人	⑤各種教室（長生きがい教室）	421人	合計	2,009人	A
	延べ人数																
①定例学習会	931人																
②老人識字	228人																
③研修会（館外で学習）	199人																
④交流会（保育所・子ども会との交流）	230人																
⑤各種教室（長生きがい教室）	421人																
合計	2,009人																
同和問題の解決	104. 各部運営学級育成補助事業（成年）	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。成人男子 169人</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会</td> <td style="text-align: right;">2,502人</td> </tr> <tr> <td>②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）</td> <td style="text-align: right;">107人</td> </tr> <tr> <td>③研修会（人権・同和問題講演会）</td> <td style="text-align: right;">67人</td> </tr> <tr> <td>④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）</td> <td style="text-align: right;">410人</td> </tr> <tr> <td>⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）</td> <td style="text-align: right;">3,536人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">6,622人</td> </tr> </tbody> </table>		延べ人数	①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会	2,502人	②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）	107人	③研修会（人権・同和問題講演会）	67人	④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）	410人	⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）	3,536人	合計	6,622人	A
	延べ人数																
①役員会・運営委員会・全体学習会・定例学習会	2,502人																
②各種学習会（館外・パソコン・健康学習会他）	107人																
③研修会（人権・同和問題講演会）	67人																
④交流会（視察・地域・保育所・子ども会との交流）	410人																
⑤地域活動（子どもまつり・カヌー・オータム奉仕活動）	3,536人																
合計	6,622人																
同和問題の解決	105. 各部運営学級育成補助事業（青年部）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。青年部 121人</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学習会（青年部活動者会議）</td> <td style="text-align: right;">18人</td> </tr> <tr> <td>②研修会（全国青年集会）</td> <td style="text-align: right;">6人</td> </tr> <tr> <td>③役員会</td> <td style="text-align: right;">65人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">89人</td> </tr> </tbody> </table>		延べ人数	①学習会（青年部活動者会議）	18人	②研修会（全国青年集会）	6人	③役員会	65人	合計	89人	A				
	延べ人数																
①学習会（青年部活動者会議）	18人																
②研修会（全国青年集会）	6人																
③役員会	65人																
合計	89人																

同和問題の解決	106. 各部運営学級育成補助事業（子ども会育成会）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。子ども会育成会 43人</p> <p style="text-align: right;">延べ人数</p> <p>①定例学習会 525人</p> <p>②各種学習会（就学前・3支部育成会・運営委員会） 496人</p> <p>③研修会（人権・同和教育） 78人</p> <p>④交流会（子ども会・育成会共に歩く会） 695人</p> <p>⑤体験活動（親子体験） 55人</p> <p>⑥その他の活動（資源回収） 70人</p> <p style="text-align: center;">合 計</p> <p style="text-align: right;">1,919人</p>	A
同和問題の解決	107. 各部運営学級育成補助事業（各種学級）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動を実践した。各種学級生 312人</p> <p style="text-align: right;">延べ人数</p> <p>①英会話教室 137人</p> <p>②音楽教室 667人</p> <p>③健康料理教室 1,101人</p> <p>④民舞教室 195人</p> <p>⑤健康体操教室 354人</p> <p>⑥カラオケ教室 240人</p> <p>⑦アートフラワー 156人</p> <p>⑧手芸教室 182人</p> <p>⑨生け花教室 47人</p> <p>⑩盆栽教室 98人</p> <p style="text-align: center;">合 計</p> <p style="text-align: right;">3,177人</p>	A
施策の総合推進	108. 筑紫野市同和教育研究会運営費補助事業	<p>●筑紫野市同和教育研究会の運営を助成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別からの解放を目指す人権・同和教育を実践している。</p> <p>◇年間事業計画に基づき、研究大会、学習会、講演会等を開催</p>	A
施策の総合推進	109. 同和教育推進5中学校区事業補助事業	<p>●5中学校区の児童・生徒の人権尊重意識が高まり、一人ひとりを大切にする人権・同和教育が推進されている。</p> <p>◇・5中学校区に推進委員会を設置</p> <p style="padding-left: 20px;">・ブロック研修会ならびに公開授業研究を実施</p>	B

施策の総合推進	110. 識字学級	<p>●同和地区の住民が文字を学び、自己実現のための様々な学習により差別に負けない力量が培われている。</p>	A															
		<p>◇学習内容</p> <p>①文字学習を中心とした学習</p> <p>②人権問題を基本に生活文化向上の学習</p> <p>③人権尊重のまちづくりを推進するための学習</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%; text-align: center;">担当者</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">学級生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京町識字通信</td> <td style="text-align: center;">77人</td> <td style="text-align: center;">143人</td> </tr> <tr> <td>美咲大学</td> <td style="text-align: center;">96人</td> <td style="text-align: center;">94人</td> </tr> <tr> <td>岡田解放学級</td> <td style="text-align: center;">34人</td> <td style="text-align: center;">28人</td> </tr> <tr> <td>永岡識字学級</td> <td style="text-align: center;">34人</td> <td style="text-align: center;">22人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">241人</td> <td style="text-align: center;">287人</td> </tr> </tbody> </table>			担当者	学級生	京町識字通信	77人	143人	美咲大学	96人	94人	岡田解放学級	34人	28人	永岡識字学級	34人	22人
	担当者	学級生																
京町識字通信	77人	143人																
美咲大学	96人	94人																
岡田解放学級	34人	28人																
永岡識字学級	34人	22人																
合 計	241人	287人																
施策の総合推進	111. 少年期人権啓発事業	<p>●少年期の人権啓発の推進を目的とした事業で、日常的な子ども会での異年齢の子ども同士の活動（人権学習や体験学習）等を通して、自らの社会的立場を自覚し、差別に負けない、許さない強い意志と実践力をもった子どもの育成を図る。</p>	A															
		<p>◇体験学習支援活動をはじめ、社会体験を豊かにし、人を大切に する支援活動を行った。4地区（京町、美咲、岡田、永岡）</p> <p>※指導者については、小・中学校教職員</p>																
施策の総合推進	112. 奨学資金貸付事業	<p>●経済的理由によって進学又は修学が困難な生徒に対し学資を貸与し、有用な人材の育成を図る。</p>	B															
		<p>◇新規貸与者として、高校生3名、大学生4名を採用した。 高校生6名、大学生3名に対し継続して貸与を行った。</p>																
施策の総合推進	113. 指導者養成講座事業	<p>●女性問題の講座の学習活動を通して「部落差別をはじめとする様々な差別の存在に気づき、地域での実践活動を通して人権思想を暮らしの中に生かし、一人ひとりの豊かな生活や幸せな未来を築くため」地域社会において核となり得る指導者を育成する。</p>	B															
		<p>◇平成26年度から、従来の「女性問題講座」から「人権講座」へとリニューアルし、女性に関するテーマだけではなく、子どもの人権に関わる問題を中心に幅広く人権について学ぶ内容としている。平成26年度は、7月から2月まで、「未来を担う子どもたちへ～楽しくてためになる人権について考えよう～」をテーマとして計5回の講座（うち1回は館外研修）を開催した。（延べ参加者数：127人）</p>																

学識経験者意見

点検及び評価に関する学識経験者からの意見

筑紫野市社会教育委員の会 代表 稲住 和夫

筑紫野市教育委員会では、第四次筑紫野市総合計画における後期基本計画の教育に関する政策の中から、〔政策5〕〇生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備、〔政策6〕〇認め合い、共に生きる人権尊重社会の醸成の2つを「基本理念」とし、5つの「基本目標」を定め、基本理念、基本目標の実現のため、主要施策・具体（個別）施策を掲げた「教育施策要綱」が作成されています。

そして、それらの政策を具現化するための教育行政事務の管理及び執行状況についての点検と3段階の評価がなされ、「筑紫野市教育委員会点検・評価報告書」が今年度も作成されました。

点検・評価報告書の作成にあたっては、各課からの取り組み状況や評価を独自の様式に則りながら作成されており、担当された皆様のご労苦とともに、関係者、参加された人々の喜びや笑顔も同時に想像され、筑紫野市の教育行政の「よさ」や「パワー」が十分に感じられます。

しかしながら、教育施策の基本目標や主要施策の順序性・整合性、各事務事業がどの施策を受けて執行されているのかといった、教育施策要綱と点検・評価報告書と照らし合わせて見ていくと見づらいものになっていることは否めません。また、平成25年度、平成26年度との点検・評価報告書の中身を見てみると、継続している同じ事務事業において、成果状況等も同様で差異はないものの、3段階の評価には違いが生じているなど、成果指標に基づく評価規準・基準が、どのようになっているのか、疑問に感じるところも見られます。

以下、基本理念、主要施策に基づく点検・評価報告書に従ってコメントを述べさせていただきます。

<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>

1. 学校教育の充実

基本理念をしっかりと受け、教育環境の整備に力が注がれていることに気づきます。地理的条件を緩和するための児童生徒通学支援事業や遠距離通学補助事業、個の教育的ニーズに応じた特別支援教育推進事業など、筑紫野市のきめ細かな配慮のもとに事業が継続されているものと思われませんが、事業の評価がさほど高くないのが気になります。一方、昨今の異常気象に対応した小・中学校防災機能強化（空調設備整備）事業などで、子どもの学習環境はアップし、学力の向上にも期待が持てるものです。

教職員の資質の向上においては、市教育委員会の指定校制度の維持は、高く評価できるものです。研究発表会にも参加したのですが、教育課題に応じた主題研究であり、何よりも、研究の成果が子どもの姿に具現化されていました。学校としての組織力を高め、地域に信頼されるコミュニティ・スクールの推進にも寄与するものと考えられます。ただ、発表会は、研究の通過点であり、発表後の研究のあり方が問われるものでもあります。指定校間の交流会や教育課程（時制）の工夫による市教職員全員が参加する研究会などにして、指導方法や経営力を学ぶ絶好の機会（市で学び、市で育つ）としたいものです。

小学校、中学校備品等整備事業は、児童・生徒の学力保障、学校教育の振興のために実施されている事業ですが、学校は毎年、限られた予算内で最大の教育効果をあげるための工夫や努力をされているのが実態でしょう。最新の教育課程に適合する学校図書や教育用教材の買い替えができていない状況のようですが、早急な対応によって、学校現場のやる気と教育の成果を期待したいものです。

2. 青少年の健全育成

少子高齢化や情報化など、めまぐるしく変わり続ける社会環境の変化、人と人との関係の希薄化が急速に進み、子どもや若者、さらには、保護者世代や高齢者世代にまで地域離れが加速しているといわれます。まさに、地域に住んではいるが「地域人」がいないといわれる所以です。

このような時代であるからこそ、学校・家庭・地域を基盤とした青少年の健全育成、地域の連帯感の高揚等が求められているといえます。

学習機会、体験活動の充実及び情報の提供を基本とする事業は、子ども会の活性化、ジュニア・リーダーの育成、指導者研修会等と系統化、組織化ができており、関係団体との連携を図りながら、今後の充実・発展を期待しているところです。評価は、A、B、Cと幅広いものの、評価の規準、基準を明確にするとともに、マンネリ化を防ぐために活動内容の見直しも検討していただきたいものです。

「少年期の体験が多い人ほど、思いやり、やる気、人間関係力の資質・能力が高い」といわれているように、子どもの頃の体験活動は、その後の人生に影響するものです。青少年育成事業（BGレンジャー）補助事業、筑紫野市通学合宿推進事業、夏休み学校外活動事業のステキな夏休み教室等は、秘められた地域の力で子どもが成長し、子どもも大人も地域がもっと好きになる事業といえます。コーディネーターする人、多くのボランティアなどが必要で、実施へのハードルは高いようですが、様々な体験活動を通して「自立した子どもの育成」をめざした取り組みが、各地域（小地区公民館）に広がっていくことを期待します。

3. 生涯学習・社会教育の推進

筑紫野市の生涯学習・社会教育は、福岡教育事務所管内でも充実していると高く評価されています。生涯学習に対する関心や意欲が高く、興味や趣味などに応じた地域の公民館などの講座、自主的な学習グループなど様々な取り組みが見られるとともに、様々な学習ニーズに対応するための環境整備が図られていることに起因するものと思われます。

学習ニーズに対応した学習機会の充実では、小地区公民館講座推進事業、市民大学講座事業、ちくしの高年大学事業、ちくしの文化講座事業等々、日々、学びの場は提供されており、学ぶ意欲のある人たちが、いきいきとして活動されている姿が散見できます。また、学んだことを発表する機会も生涯学習フェスティバル事業（3つのフェスタ）等があり、多くの市民が参加し、交流の場となっているのは、体制づくりの構築によるまちづくりの成果と感じられます。

万葉の里、筑紫野市も都市化の影響で、文化遺産が失われつつありますが、文化財・文化遺産等に対する意識の高い市民への情報提供とともに芸術文化活動への参加意識を喚起する「しかけ」の必要性も感じます。また、人形劇のあるまち推進事業、子どもの読書活動推進事業等が市民あがての活動となり、まちづくり活動の推進・発展となることを期待するものです。

4. スポーツ・レクリエーションの推進

健康・スポーツは、本市においても興味・関心度は大変高く、すでに文化として根付いていると感じます。

また、天拝山ロードレース大会など本市が主体となり年齢や体力に応じたスポーツの振興に取り組んである姿は嬉しく、誇らしくも思えます。しかも、それらの取り組みの成果が福岡県の駅伝大会においても優秀な成績を挙げられるなどして、生涯にわたってスポーツ活動ができる環境づくりに拍車がかかるものと期待するところです。

子どもたちの環境に目をむけると、いわゆる三間（時間、空間、仲間）がない状況は変わらず、

スポーツの二極化も問題とされています。おまけに、公園で遊ぶ子どもたちの歓声（マナーの悪いのは問題だが）が騒音に聞こえる方もいらっしゃいます。施設の充実には予算をとまなうものですが、期間限定で稲を刈った後の田んぼを利用して遊ばせたりするのはいかがでしょう。また、大きな芝生公園を作り、思い切り走り回ったり、その芝生公園で多くの人々がグランドゴルフ大会を楽しんだりする姿が想像できます。地域に根ざした明るく活力ある生涯スポーツ社会づくりは、市民のアイデアや、「一緒にやってみない」といった声かけ等にもカギがありそうな気がします。

<認め合い、共に生きる人権尊重社会の醸成>

5. 人権意識の向上

児童・生徒の豊かな人権感覚の醸成、基礎学力の定着と進路保障の確立など学校教育に関するものと人権尊重の意識を高める市民啓発と人権・同和教育を推進する市民リーダーの育成をめざす社会教育の事業が実施されていて、それぞれに効果があり高い評価がなされています。

学校教育では、人権・同和教育は教育の基盤として位置づけられ日常的な実践まで高められているものと思います。社会科学習カリキュラムの授業の充実や人権感覚育成プログラムの確実な実践による取り組みが日常的な実践につながっているか、検証がしっかりされていくことが大切だと考えます。筑紫野市で学んだ「よさ」が、高校等に進学して実感したというお話も聞きます。豊かな人権感覚が確かなものとなり、人権・同和教育を推進する市民リーダーへ育ててほしいものです。

社会教育では、人権・同和教育問題講演会の開催や人権・同和教育啓発冊子の発行など啓発推進に努められ、認識と理解が深まってきていることが感じられます。今後も多様化する人権課題や市民ニーズに対応され、手にとって読んでもらえる紙面づくりや理解しやすく自らの行動を促すような内容づくりを検討していただくことを望んでいます。なぜなら、一人ひとりが自分ができること（自分が人から言われていやなことは人には言わない等）から実践することが人権尊重社会づくりのスタートだからです。以上、項目に従って意見を述べましたが、客観性を欠くものになってしまいました。

今年度の点検・評価報告書において、三項目のうち、「事業の意図」、「活動状況等」の内容は読み取ることはできても、3段階の「評価」（A、B、C）の妥当性（なぜそうなのか、そう判断した根拠等）がわかりにくく、疑問が生じるものもあります。その要因として考えられるのは、活動の状況において事業の内容、参加人数等の記述はありますが、その事業を実施しての「考察」に値する記述が見えないことにあり、見直しの観点が「付加」、「修正」、「強化」なのか、また、次年度にどのように高めようとしているのかみえてこないものです。もちろん、単年度の事務事業は問題ないのですが、PDCAのマネジメントサイクルが十二分に機能するようご検討ください。また、前段でも記述していますが、教育施策要綱における基本目標、主要施策の実現のための事務事業の点検・評価であるのが本来の姿といえるのではないのでしょうか。その視点や観点からの点検・評価報告書が妥当であれば、平成27年度から形式が変わってくるものと思われます。

筑紫野市にずっと在住していながら市内の学校勤務経験が全くなく、かつ、社会教育委員の経験も少ない浅学非才の私が意見を述べることには大きな抵抗がありました。学校教育、社会教育に関する一般方針、教育内容等の一般方針等の審議・決定を行う教育委員会会議の傍聴の経験等ありません。筑紫野市の教育行政を知らないという立場からは、外部評価になるのではないのかと勝手な自己判断をし、意見を述べていることをお許しください。

行きたい学校、行かせたい学校、帰りたい家庭、誇りたい地域、そのような教育環境が整い、認めあい、誰もが笑顔で、いきいきと暮らせる共生のまち筑紫野市の更なる発展のために、点検・評価そして改善・実行と機能する「報告書」として活かされることを心から祈念いたします。